

私のたからもの ～「佐久ひとときカフェ」にて～  
佐久市「清集館」 佐々木 都

私のたからものは合わせた両手のてのひらの上にあります。形は特に決まっています。丸かったり、ごつごつしていたり細くて長いのもあれば“ふうせんかづら”の实のようにハート型をした小さいものもあります。三角だったり、四角だったりつぶつぶもあつたりいろいろです。重さもそれぞれ、てのひらの上にはずしんとくる重さだったり、ふわっとする軽さだったり、その時々によって全部ちがいます。色だってそうです。濃い紫があつたり、薄い空色があつたり、ばら色だったり、虹色だったり、墨色もなみだ色も…。

でも一番多いのが夢いろでしょうか。いいえ何といつても“自分色”です。

聞こえてくる音もたからもの。朝の鳥の啼き声、耳を澄ませば木々の葉ずれの音、雨の音、車の走る音、カチカチ時を刻む時計の針の音、台所で野菜をきる音、じゅじゅとご飯のふきこぼれる音、お湯のわく音、ぐつぐつ煮物の煮える音、お魚を焼く炭のはじける音。いったりきたりする家族みんなの足音。

そうそう匂いも素敵です。お正油、お味噌、ソースに唐辛子、いろいろいっぱい！。

合わせて手のひらのくぼみの中に私の“たからもの”はあふれています。だからシアワセ。

浅間総合病院 ～胃切除後障害外来の開設～  
長野朝日テレビ (12月7日) 放映



がん哲学外来シンポジウム&カフェ  
会場：長野県東御市中央公民館  
2017年1月26日(木) カフェ 15:15~16:45  
シンポジウム 17:00~19:30



「佐久ひとときカフェ」 スタッフ 星野 昭江  
2011年1月から開始した「佐久ひとときカフェ」、今年は上記の「佐々木都さんのお話」で締めくくりの会となりました。地域で、誰もが、気軽に悩み事を話せる場としてスタートした「佐久ひとときカフェ」ですが、その後「浅間対話カフェ」、「追分あうんの家カフェ」そして「がん哲学@すわちゅーカフェ」へと大きな広がりを見せてくれました。2017年は、さて、どんな展開が！

がん哲学外来研修センター (佐久市前山 321-3)  
mail: kenkokobo@hb.tpl.jp  
(編集発行責任者：星野 昭江)